

# 浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

## 「命日とは？お仏壇とは？」

慈光照護のもと、門信徒の皆様にはますます  
すご清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存  
じます。

西光寺のある坂井市三国町では、月参り  
(月命日のお参り) ……月命日という用語が  
正式かどうか不明ですが……例えば1月10  
日に亡くなった方のお家に毎月10日にお参  
りさせていただくという風習があります。  
三国の方はわからないかも知れませんが、全  
国的には月参りがない地方の方が多いと思  
います。月参りの意味は、『亡くなられたご  
家族のご命日を縁として、私(みなさん)が  
仏法に遇わさせていただく日』です。決して  
『亡くなった方の供養』をする日ではありま  
せん。私たち浄土真宗の僧侶には追善供養  
をする資格も能力もありません。ただ読経  
して、宗祖親鸞さまの選り取ってくださった  
阿弥陀如来の救いを、みなさまとともに喜ば  
せていただくだけです。月命日だけではな  
く、年回法要(法事)や究極をいえば葬儀で

さえ、私(みなさん)が仏法に遇わせていた  
だく日というところが浄土真宗の仏事で  
す。亡くなられた方は阿弥陀如来の本願力  
によってすでに浄土に往生しておられます。  
みなさんが願う前にすでに阿弥陀如来とと  
もに私たちを願う存在になっておられます。  
あとは私(みなさん)自身の問題です。『坊主  
が来て、お経さえあげればそれでオーケー』  
ではまったくありません。

同様に仏壇は、ご本尊(阿弥陀如来)を  
御安置する場所です。決して亡くなった方  
をお祀りするところではありません。これ  
は以前にも書きましたが、本来は骨はもち  
ろん位牌も入れません。ご門徒さん宅の仏  
壇から位牌を出してしまい、喧嘩になったお  
寺さんも知っています。それはやりすぎか  
もしれません。でも、本来はそうだというこ  
とは知っておいていただきたいと思えます。

浄土真宗は『あてにならないものをたより  
にしない』宗教です。西光寺はもちろん、本  
願寺に行ってもお守りは売っていません。  
家内安全も、商売繁盛も、無病息災もひとつ  
もかなえることはできません。阿弥陀如来  
の本願を信じ、南無阿弥陀仏と念仏申す身に  
させていただくことで、生老病死のありよう  
を顕らかに見て、ありのままに受け入れ、ど  
んなことがあってもこの身のいのち終える  
まで生き抜く力をいただくことができます。

みなさまにもよくよくその点をご理解い  
ただきたいと思えます。「なんじゃそんなん  
なら役に立たん！」と思われたら、ご遠慮  
なくおっしゃってください。私どももあり  
のままに受け止めたいと思えます。

## 「彼岸会が厳修されました。」

今年の春の彼岸会は、瓜生先生をお迎えし  
て無事厳修されました。お参りは上出様、桜  
井様、田中千代子様、玉谷様、新田様、藤田  
様、柚木様(50音順)の7名でした。ようこ



熱く仏法を語る瓜生先生

そのお参りでございました。お寺の法座は、  
皆さんのお宅でのお参りと同様、いやそれ以  
上に重要かもしれませぬ。この私(みなさ  
ん)が救われていく道を聞かせていただく大  
切なご法座です。西光寺では他に永代経・報  
恩講・御正忌の法座をおつとめしております。  
万難を排してお参りしましょう。

## 「ごえんさんってなんですか？」

これまた坂井市三国町近辺では、寺の住職を呼ぶのに『ごえんさん』と言いますね。この語源をご存知ですか？お寺＝寺院ですの  
で、お寺さんという意味の『御院さん』がな  
まっつて『ごえんさん』になったものと思われ  
ます。ウィキペディア（インターネット上の  
百科事典）では、関西以西の呼び方である  
『御院家さん』が『御院さん』になり『ごえん  
さん』になったと書かれています。

## 「決算・予算承認される」

今日11日に西光寺護持会の役員の皆様  
平成25年度決算・26年度予算をご提示し、と  
もに承認されましたのでご報告いたします。  
今後とも、西光寺の護持発展のためにお力添  
えを賜りますようお願いいたします。昨年  
は庫裏の床と雨漏りの修理、今年は庫裏の屋  
根の修理をしなければなりません。昨年雨  
漏りの修理をしていたいたときに、あまり  
にも古い瓦を使っていると驚かれました。  
お寺はご門徒様みんなのものです。みなさ  
んが仏法を聞いて喜び、生きる力を与えられ  
る聞法の道場であるお寺をお互いに護つて  
まいりましょう。

ご門徒様の封筒には、護持会費の決算・予  
算書が同封されています。ご協力よろしく  
お願いいたします。

## 「花まつりが開催されました。」

去る4月5日（土）に三国町仏教会主催の  
花まつりが開催されました。今年はぎりぎ  
り雨にもならずホッとしました。門信徒の  
みなさまには、奉賛懇志をたくさん頂戴しま  
して誠に有り難うございました。花まつり  
の運営、また、仏教会の活動に大切に使用せ  
ていただきます。今後もご協力をよろしく  
お願いいたします。また、箴谷公則様のお孫さ  
ん、高田嘉三様のお孫さんも子供大会に来て  
くださいました。ようこそでした。

## 「蓮如上人御忌法要開催！」

今日23日（水）～5月2日（金）まで、吉  
崎別院にて蓮如上人のご命日をご縁とした  
御忌法要が勤まります。住職と若院も出勤  
いたします（若院は27日のお日中（午前10時  
より）とお逮夜（午後2時より）の法座に出  
講いたします）。出勤の日と重なればお乗せ  
していくことも可能です。お参りしたい方  
は寺までお問い合わせください。

## 「親の顔が見たい」再演決まる。

チラシを同封させていただきましたが、6  
月に、若院が所属しております『福井青年劇  
場』の公演があります。なんでもうやらない  
んじゃないの？と思われるかもしれませんが、  
今年いっぱいはまだやるみたいです。6

年前に上演した、自殺した同級生の遺書に名  
前のあった子供の親たちが集められる話で  
すが、なぜか演出のたつての希望で再演の運  
びとなりました。前回とはまた演出がずい  
ぶん違って、苦しみながら稽古をしていま  
す。1時間50分の真剣勝負です。私は最初  
から最後まで舞台上です。来てくださる方  
はご一報ください。チケットをお持ちいた  
します。どうぞよろしくお願いいたします。

## 「CDあります！」

ご門徒の加島様から、「阿弥陀経のCDを  
親戚に送りたい」とたいへん嬉しいお申し出  
がありました。昨年のお正月にお分けした  
ものです。みなさん聴いてくださいました  
か？ご親戚や遠くに住むご家族にCDやこ  
の寺報をお送りします。バックナンバーも  
承ります。お念仏の輪を広げましょう。

※来寺のお約束や、お参りの変更など、重要  
なことは必ず携帯にお電話下さい。出られ  
なければ留守電に入れてください。こちら  
からご連絡いたします。

住職 内嶋洪淳（うちじま こうじゅん）  
090-8261-3090

若院 内嶋淳浩（うちじま あつひろ）  
090-8967-7902

メールアドレス  
soichiro4989@gmail.com